



# 週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。  
毎週水曜日夕方発行

トウモロコシ、大豆ともに大幅続伸

発行日 : 2020/7/1



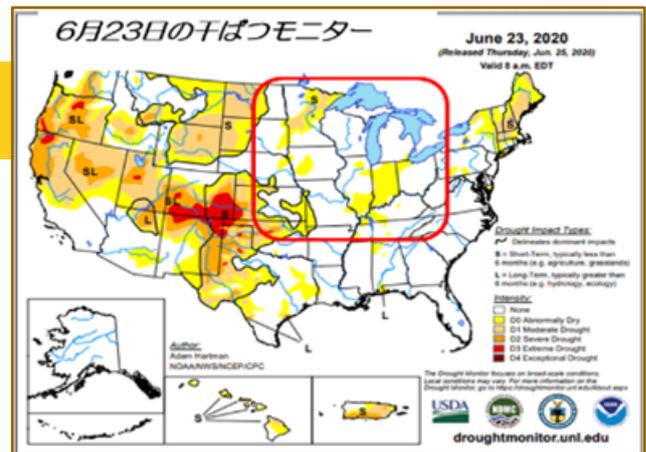
30日のシカゴトウモロコシ9月限は+12.75セントの341.50セント。取引レンジは326.00セント~345.75セント。米農務省が発表した作付面積が、事前予想を大きく下回ったことで一時4月3日以来の高値345.75セントまで一気に急伸した。3月31日時点での作付意向面積を500万エーカー下回る水準で、3~6月としては1983年以来的落ち込みとなった。四半期在庫は事前予想を上回ったが、反応は限定的だった。米中西部では生育に一番重要な受粉期を迎えており、予報では中西部の西域で収穫に好ましい降雨が見込まれているが、これからの天候次第では価格が大きく動く可能性もある。

シカゴ大豆9月限は+17.25セントの878.75セント。取引レンジは860.25セント~883.75セント。米農務省が発表した作付面積が事前予想を下回っていたことで買いが先行した。3月31日時点での作付意向面積は上回ったものの、中国の需要拡大期待が高まったことや、トウモロコシ市場の急伸も支援材料となった。6月1日時点の大豆在庫は事前予想とほぼ変わらなかったが、昨年同期から大きく減少した。

シカゴ小麦7月限は+5.525セントの491.75セント。取引レンジは481.25セント~498.75セント。トウモロコシや大豆など他の穀物先物相場に追随高となった。農務省が発表した作付面積は事前予想を大きく下回り、1919年以来最小規模となったことも支援材料となった。

6月14日~21日の週の米国の天候 by Weekly Weather and Crop Bulletin of USDA

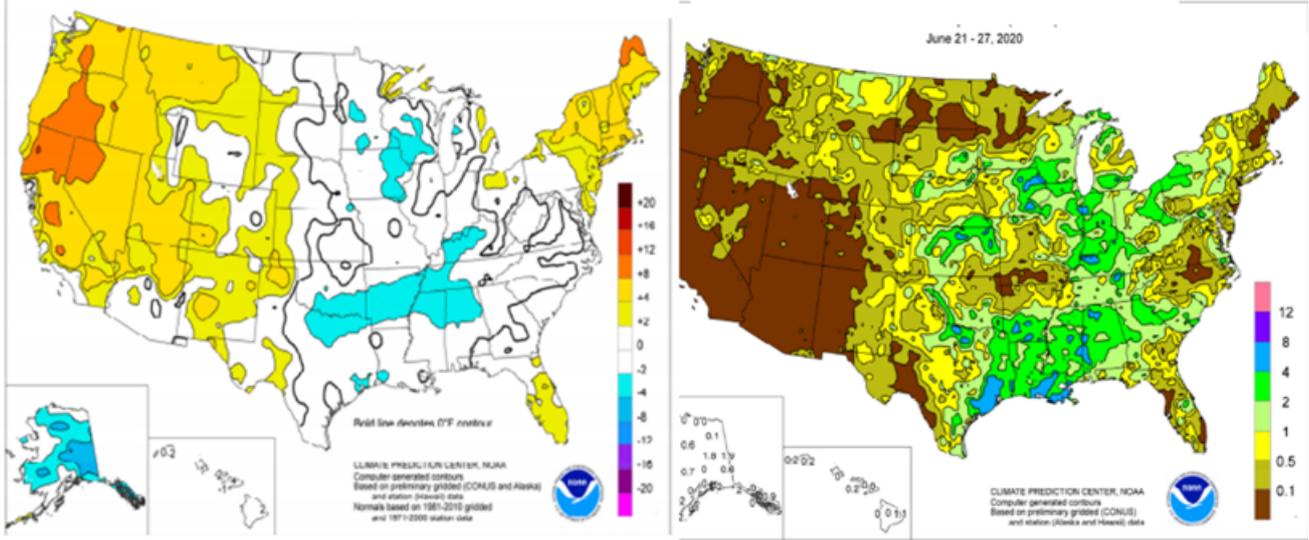
米国立農業統計サービスと世界農業アウトLOOK会議によれば、6月21日~27日の米国中部平原から東海岸まで、広範囲にわたる地域で散発的な降雨があり、コーンベルト東部に当たる中西部西地区の大半は十分な恵みの雨があり、土壌水分の減少によってストレスを経験し始めていた作物に利益をもたらした。ただ中部の牧草地の一部は干ばつに影響を受けている。





6月21日~27日の米国の気温 (平年比)

6月21日~27日の米国の降雨量



Crop Progress

トウモロコシ				18州
Silking	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	1%	2%	2%	
6月28日	2%	4%	7%	

大豆				18州
Emerged (発芽)	前年度	2020年度	過去5年平均	
5月10日	1%	7%	4%	
5月17日	4%	18%	12%	
5月24日	9%	35%	27%	
5月31日	17%	52%	44%	
6月7日	30%	67%	61%	
6月14日	49%	81%	75%	
6月21日	66%	89%	85%	
6月28日	80%	95%	91%	

冬小麦				18州
Harvested	前年度	2020年度	過去5年平均	
5月31日	1%	3%	2%	
6月7日	3%	7%	7%	
6月14日	7%	15%	15%	
6月21日	13%	29%	26%	
6月28日	26%	41%	41%	

トウモロコシ						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月24日	1%	4%	25%	58%	12%	70%
5月31日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月7日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月14日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月21日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月22日	1%	4%	22%	57%	16%	73%
前年度	3%	9%	32%	47%	9%	56%

大豆				18州
Blooming	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	1%	5%	5%	
6月28日	2%	14%	11%	

大豆						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月21日	1%	4%	25%	58%	12%	70%
6月28日	1%	4%	24%	58%	13%	71%
前年度	2%	9%	35%	47%	7%	54%

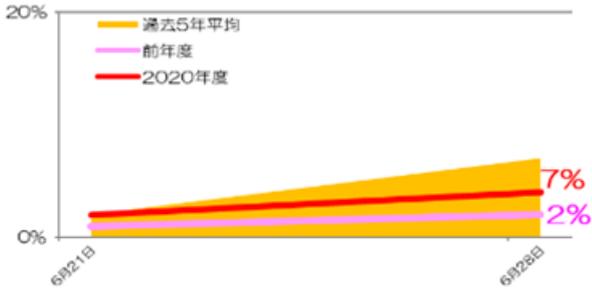
春小麦				18州
Headed	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	6%	12%	22%	
6月28日	20%	36%	45%	

春小麦						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月7日	0%	1%	17%	72%	10%	82%
6月14日	0%	2%	17%	73%	8%	81%
6月21日	1%	3%	21%	68%	7%	75%
6月28日	1%	5%	25%	60%	9%	69%
前年度	1%	3%	21%	67%	8%	75%

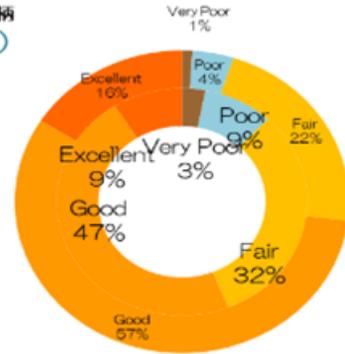


6月28日の米国産トウモロコシのSilkingは4%完了（前年は2%、過去5年平均は7%）、トウモロコシの作柄は優と良が73%、大豆は、発芽が95%とほぼ完了（前年は80%、過去5年平均は91%）作柄は優と良が71%。冬小麦の収穫は41%完了（前年は26%、過去5年平均は41%）春小麦のHeadedは36%完了（前年は20%、過去5年平均は45%）作柄は優と良が69%。

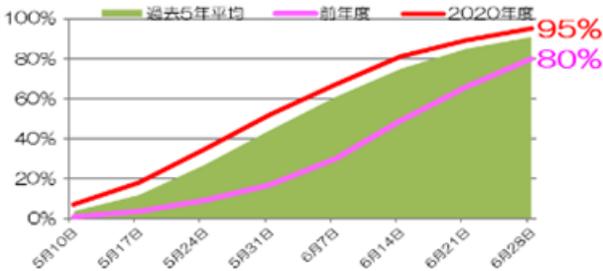
6月28日までのトウモロコシ  
20/21年度の Silking 進捗状況



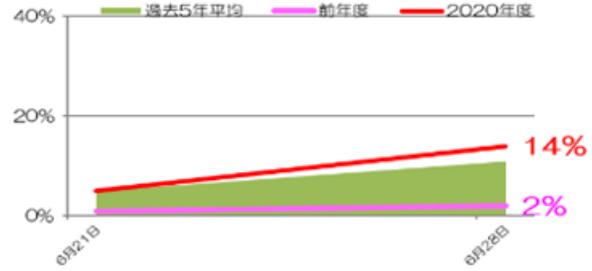
トウモロコシの作柄  
(6月28日)  
外側は2020年  
内側は2019年



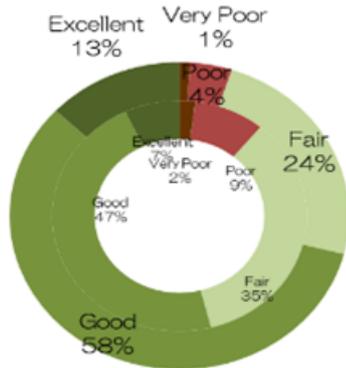
6月28日までの大豆の発芽 進捗状況



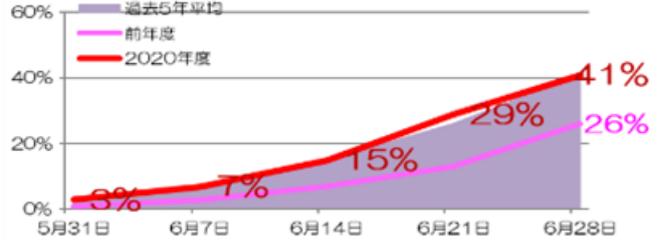
6月28日までの大豆の開花 進捗状況



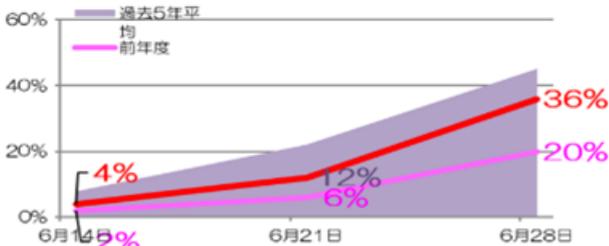
大豆の作柄  
(6月28日)  
外側は2020年  
内側が2019年



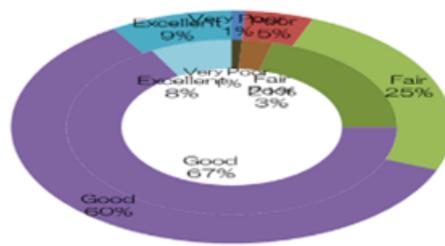
4月19日まで20/21年度米国産  
冬小麦の収穫進捗状況



6月28日まで20/21年度米国産  
春小麦のHeaded進捗状況



2020年6月28日春小麦の作柄  
(内側前年度：外側今年度)





TOPICS 中国におけるツマジロクサヨトウの発生 by USDA GAIN Report 6月17日

### 5月下旬河南省に

USDAのレポートによれば、秋のツマジロクサヨトウ（英文名 Fall Armyworm）は中国中部の長江流域に広がり、今シーズンの早い時期（5月下旬）に河南省に達している。今年のツマジロクサヨトウは、昨年より少なくとも3ヶ月早く発生しており、中国北部に移動している。中国最大のトウモロコシ生産地域である中国東部に、この害虫が定着する可能性が非常に高い。一部の業界関係者や学者は、中国が今年トウモロコシの不作とそれによる価格の高騰に悩むだろうと予測している。中国政府はトウモロコシの生産が害虫のために▲2.5%減少すると公式見通しを公表した。



### 昨年より発生が早く、広範囲に

今年のツマジロクサヨトウは、昨年より早くその成長期に幅広い作物に大きな脅威を与えている。また被害範囲も昨年よりより広範囲に拡大している。地方農業省（The Ministry of Agriculture and Rural Affairs : MARA）の系列である、国家農業技術拡大サービスセンター（National Agriculture Technology Extension Service Center : NATESC）は、2020年6月上旬までに福建省、湖北省、四川省、江西省、重慶、安徽省、上海、江蘇省、浙江省でツマジロクサヨトウの幼虫が発見されたと報告した。浙江省の場合、2020年の発見は2019年より3ヶ月以上早い。

### 17の州、720の郡、17万ヘクタールに影響

5月28日までに、同サービスセンターはツマジロクサヨトウが17の州に広がる720の郡で178,667ヘクタールに影響を与えたと報告した。これは、2019年5月10日までに13の州の261の郡で72,000ヘクタールが影響を受けたときよりもかなり広範囲にわたっている。

### 5月以降は、長江デルタまで拡大

5月28日までに、影響を受けた郡の90%近くが長江の南に位置していたが、5月以降は、長江デルタのひろまり、影響を受けた郡と州の数は増えており、長江の北と淮江の南の地域は、新たに追加された郡の81%を占めている。湖北省、安徽省、江蘇省で非常に急速に増加している。

ツマジロクサヨトウ（英文名 Fall Armyworm）の画像：上が雄成虫、中が雌成虫、下が幼虫



図-1 ツマジロクサヨトウの雄成虫（上）と雌成虫（下）  
共にブラジル産（農研機構農業環境変動研究センター所蔵）





### 江蘇州のトウモロコシ畑に被害

江蘇省のツマジロクサヨトウの動向分析によると、6月3日までに、8つの江蘇省の郡が成長したツマジロクサヨトウを確認した。江蘇省の春のトウモロコシが6月下旬に作付けを終え、シルキングの段階にあり、今後夏のトウモロコシが作付けされることを考えると、江蘇省のツマジロクサヨトウは、秋の収穫量に大きな脅威を与えると予想されている。

中国東北部は、今年の夏のツマジロクサヨトウ対策を進めている。黒竜江大豆協会（The Heilongjiang Soybean Association : HAS）は5月26日、ツマジロクサヨトウが6月下旬または7月上旬に中国東北部に入り、主にトウモロコシ作物に損害を与える可能性があるかと警告した。同協会は、ツマジロクサヨトウが今年3月に江蘇省と安徽省で検出され、その後4月と5月に長江沿いで検出されたと付け加えている。同協会は、6月に山東省に入り、最終的に中国の45%のトウモロコシを清算する中国東北部に達するだろうと警戒している。

### 発生を探知するレーダーシステム開発中

2019年の成長期の経験に基づいて、中国は4月にレーダーシステムを開発し、ツマジロクサヨトウの動きを検出、監視、警告し、予防計画を立てていると伝えられている。しかし、この制度を完全に確立するには3年かかると報告されている。現在のシステムは海南省、雲南省、山東省（中国東北部の主要な入り口として認識されている）をカバーしている。

### 日本では、岐阜新聞と徳島新聞が6月19日に確認を報道

（なお、日本では、岐阜新聞と徳島新聞が6月19日にツマジロクサヨトウが今年初めて発見されたと報道している。

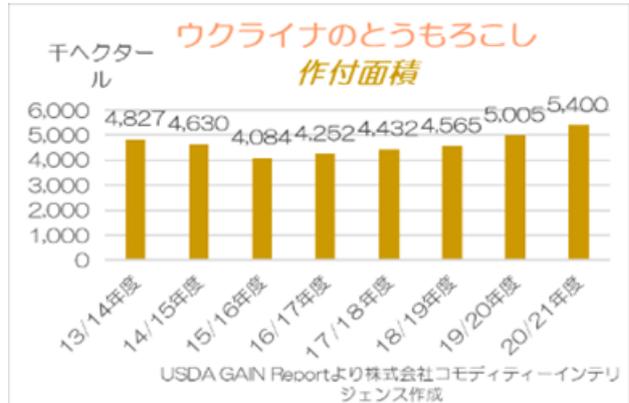
岐阜新聞によれば、飼料用トウモロコシなどのイネ科の作物を食べる蛾で、「ツマジロクサヨトウ」が県内で初めて確認されたと発表した。日本国内では昨年7月に鹿児島県内の飼料用トウモロコシのほ場で初確認された。昨年度は27府県のほ場やわなで確認（うち6府県はわなのみ）されている。ツマジロクサヨトウは中南米原産。主にイネ科の作物に卵を産み、幼虫が葉や茎、実を食べるといふ。

### TOPICS ウクライナのトウモロコシ by USDA Gain Report 6月24日

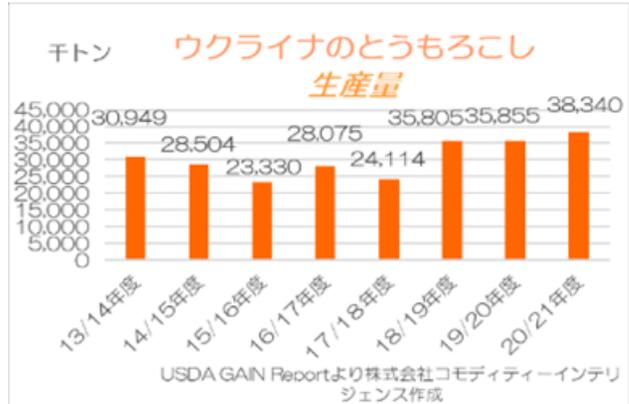
千トン・ヘクタール	13/14年度	14/15年度	前年比	15/16年度	前年比	16/17年度	前年比	17/18年度	前年比	18/19年度	前年比	19/20年度	前年比	20/21年度	前年比
作付面積	4,827	4,630	▲197	4,084	▲546	4,252	+168	4,432	+180	4,565	+133	5,005	+440	5,400	+395
期初在庫	1,191	2,402	+1,211	1,876	▲526	1,385	▲491	1,549	+164	1,567	+18	886	▲681	975	+89
生産	30,949	28,504	▲2,445	23,330	▲5,174	28,075	+4,745	24,114	▲3,961	35,805	+11,691	35,855	+50	38,340	+2,485
輸入	57	30	▲27	30	+0	30	+0	39	+9	35	▲4	34	▲1	35	+1
供給合計	32,197	30,936	▲1,261	26,236	▲4,700	29,490	+3,254	25,702	▲3,788	37,407	+11,705	36,775	▲632	39,350	+2,575
輸出	20,005	19,660	▲345	16,100	▲3,560	21,334	+5,234	18,036	▲3,298	30,321	+12,285	29,000	▲1,321	31,600	+2,600
飼料用他需要	8,300	8,000	▲300	6,800	▲1,200	5,500	▲1,300	5,000	▲500	5,000	+0	5,600	+600	5,600	+0
食料需要	1,400	1,400	+0	1,400	+0	1,400	+0	1,300	▲100	1,200	▲100	1,200	+0	1,200	+0
国内需要合計	5,700	9,400	+3,700	8,200	▲1,200	6,900	▲1,300	6,300	▲600	6,200	▲100	6,800	+600	6,800	+0
輸出+国内需要	25,705	29,060	+3,355	24,300	▲4,760	29,490	+5,190	25,702	▲3,788	37,407	+11,705	36,775	▲632	39,350	+2,575
期末在庫	2,492	1,876	▲616	936	▲940	1,256	+320	1,366	+110	886	▲480	975	+89	950	▲25
期末在庫率	9.7%	#VALUE!	#VALUE!	3.9%	#VALUE!	4.3%	+0.4%	5.3%	+1.1%	2.4%	▲2.9%	2.7%	+0.3%	2.4%	▲0.2%
単収						6.6028		5.4409	▲1.1619	7.8434	+2.4025	7.1638	▲0.6796	7.1000	▲0.0638



ウクライナの19/20年度のトウモロコシの**作付面積**は、前年比+44万ヘクタール増、20/21年度は+39万ヘクタール増乃540万ヘクタールと5年連続で増加が続く見込み。

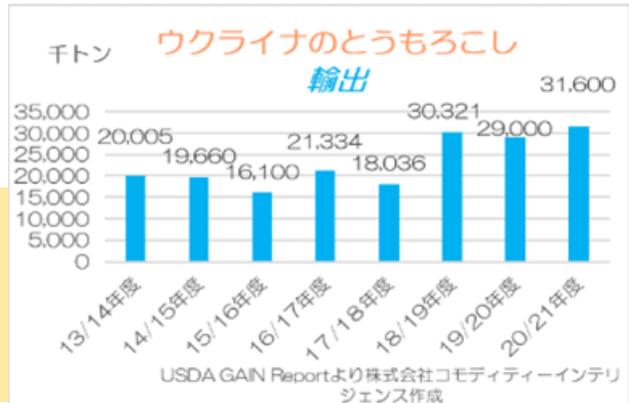


ウクライナの19/20年度のトウモロコシ**生産量**は、前年比+5万トンと横ばい、単収が▲0.67トン/ヘクタール減になった。20/21年度は+248万トンと大幅増が見込まれ3,834万トンになると見込まれている。単収は横ばいだが、作付面積の増加による。



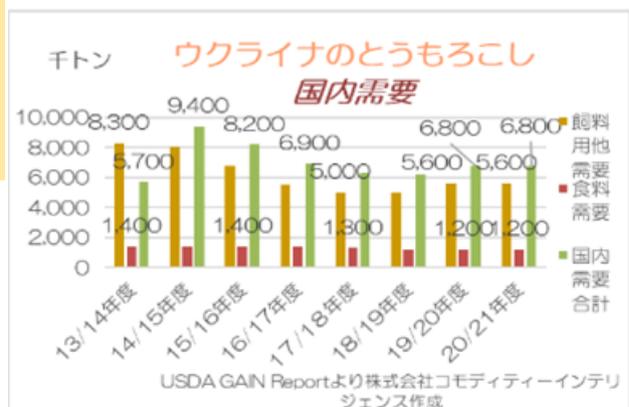
6月の需給報告によれば、ウクライナの20/21年度の世界のトウモロコシの生産に占める割合は、3%である。

ウクライナの19/20年度のトウモロコシの**輸出**は、前年比▲132万トン減、20/21年度は+260万トン増と見込まれている。



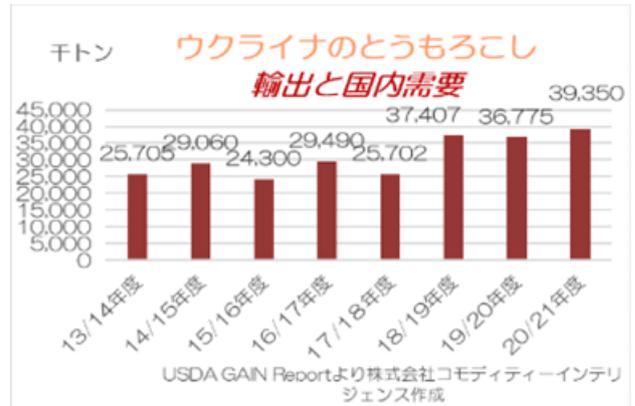
6月の需給報告によれば、ウクライナの20/21年度の世界のトウモロコシの輸出に占める割合は、18%である。生産量の割合が小さい割には輸出の割合はそこそこある。

ウクライナの19/20年度のトウモロコシの**国内需要**は、飼料用が増えて前年比+60万トン増 20/21年度の国内需要は横ばいと見込まれている。

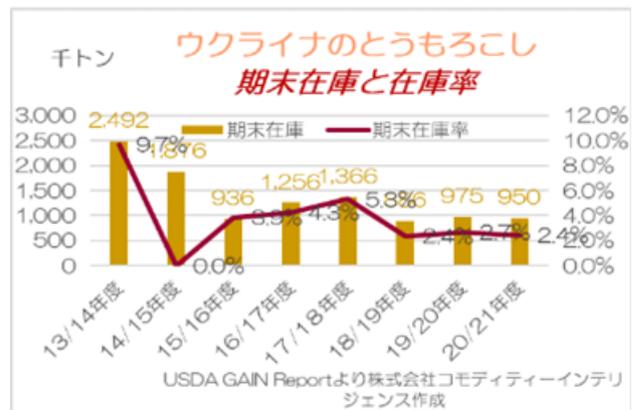




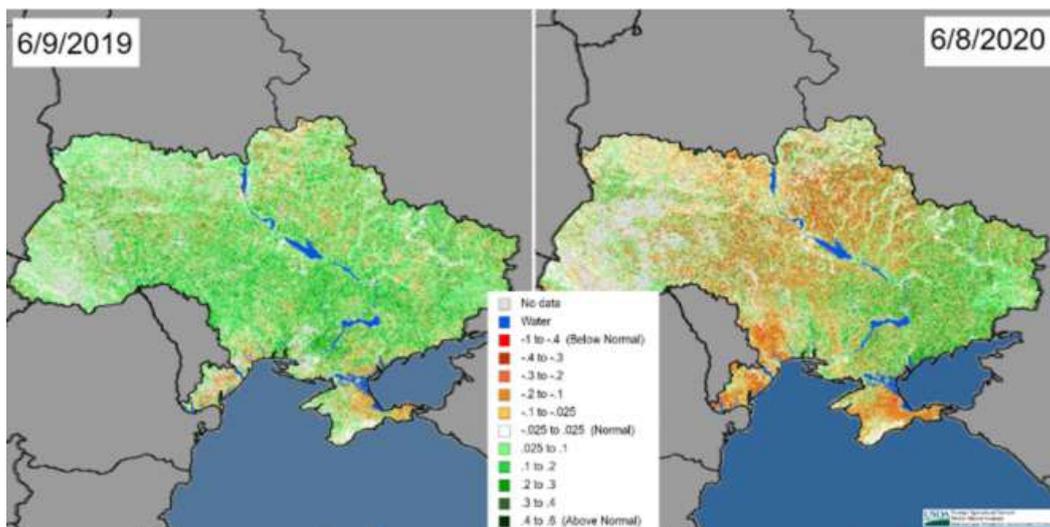
ウクライナの19/20年度のトウモロコシの**総需要**は、前年比▲63万トン減の3,677万トンだったが、20/21年度は、+275万トン増の3,935万トンが見込まれている。



ウクライナの19/20年度のトウモロコシの**期末在庫**は、前年比+8万トン増の97万トン(2.7%)だったが、20/21年度は、▲2万トン減の95万トン



昨年6月9日と今年の6月8日のNormalized Difference Vegetation Index (注)

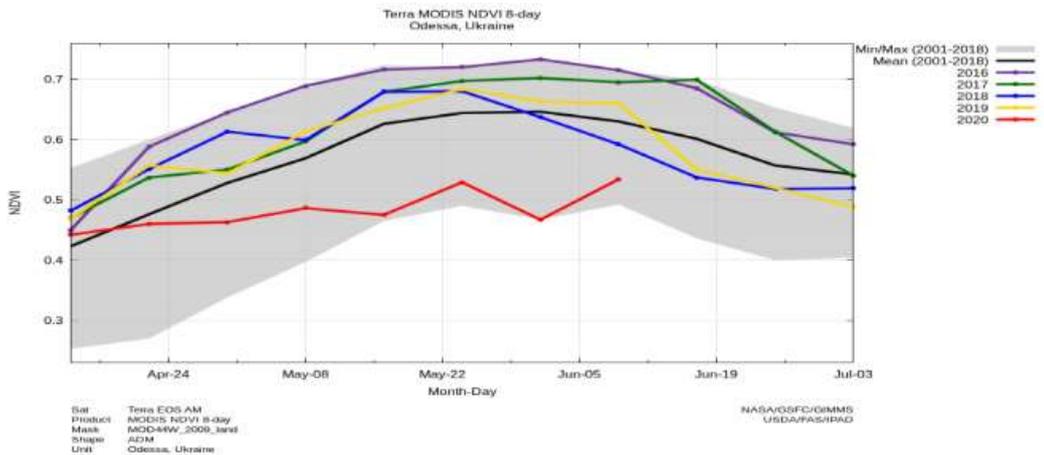


(注) Normalized Difference Vegetation Indexとは、リモートセンシングの多バンドデータから求められる植生の有無・多少・活性度を示す指標。代表的な植生指標にNDVI (Normalized Difference Vegetation Index: 正規化植生指標)があり、下記の式で求められる。詳細は、[http://www.aster.jspacesystems.or.jp/jp/glossary/jp/si/vege\\_index.html](http://www.aster.jspacesystems.or.jp/jp/glossary/jp/si/vege_index.html)

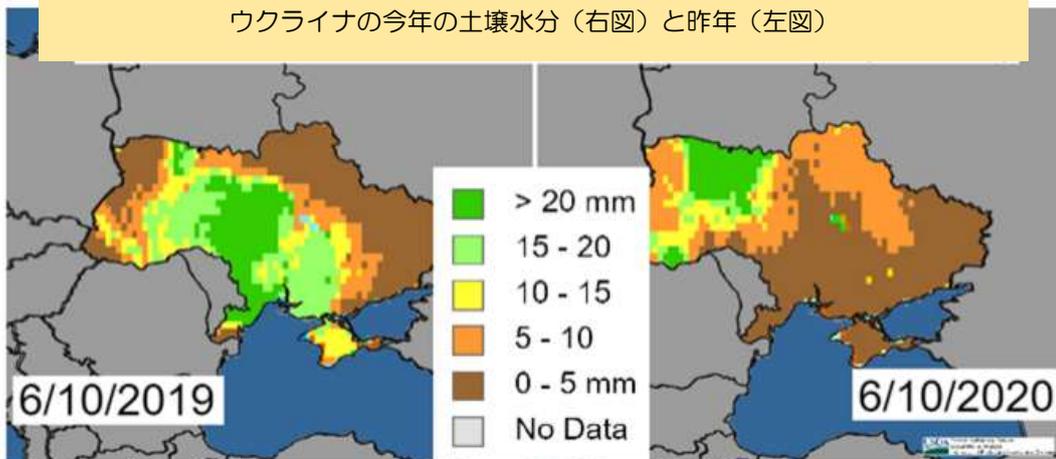
上記地図は、ウクライナの今年の6月8日までの8日間のNDV(右図)は、昨年の8日間(左図)より植生指標が悪化していることがうかがえる。どちらも過去15年の平均との乖離を色で示している。干ばつなどによる植生の影響を受けている土地が茶色く示されている。



ウクライナのオデッサ地域における2016年以來のNDVIの推移  
2020年は相当生育が悪いことがわかる。ただ、同地区の穀物生産は小麦（全小麦生産の26%）が多く、冬小麦や大麦に被害が出ている。



ウクライナの今年の土壤水分（右図）と昨年（左図）



### 今後の予想

米国産トウモロコシの生育状況は順調であると言えよう。Silkingは4%完了（前年は2%、過去5年平均は7%）、トウモロコシの作柄は優と良が73%ある。今週は独立記念日のある週であり、高温乾燥になると受粉がうまく行かない可能性があるが、本日までのところは、適度な降雨が散発的に観測されている。取り立てて問題となるような事象は起きていないが、ここ数日から数週の米国中西部の天候が注目される。熱波が襲来して熱暑になると問題であるが、今のところその気配は薄いようだ。

中国ではトウモロコシを食い荒らす蛾の幼虫が中部から北上しつつあり、昨年より早い時期の発生だという。南米ではイナゴの大量発生が観測されており虫害がトウモロコシ生産に影響する可能性があるが、中国の生産量の2.5%程度に影響するといえるのであれば、それ程危惧することもなからう。



## ご案内

### You -Tubeで金や原油の動画解説中

毎週月曜日午後8時 Gold TV netにて金やプラチナ・原油の解説をYou Tubeの動画で近藤 雅世と小針秀夫が行っております。サイトは『Gold TV net』検索ください。 <https://gold-tv.net/>

### 日本経済新聞電子版で商品投資の解説を6月1日より毎月1回半年間解説

6月1日より毎月月初に2章ずつ合計8章の文章を掲載中です。サイトは日経電子版の『マーケット』の中の『商品』欄の右側にある『PR』欄の『一覧はこちら』から一番下にある『大阪取引所』の『商品取引入門』にあります。  
[https://ps.nikkei.co.jp/ose2020/index.html?n\\_cid=P\\_SDB0021](https://ps.nikkei.co.jp/ose2020/index.html?n_cid=P_SDB0021)



商品取引入門

第2章 商品取引の種類と世界の商品先物取引

2020年06月01日（月）



商品取引入門

第1章 商品取引の特徴

2020年06月01日（月）

### 大阪商品取引所の北浜投資塾で『金の基礎知識』の動画解説放映中

JPX日本取引所グループの『大阪取引所』の『北浜投資塾』の『先物・オプション』の『その他・すべての戦略動画はこちら』の中で『金の基礎知識』の動画を放映中です。全部で12章ありますが、現在は右の6章のみ掲載中です。  
[https://www.jpx.co.jp/ose-toshijuku/futures\\_option/list.html](https://www.jpx.co.jp/ose-toshijuku/futures_option/list.html)



掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行っておりません、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス4東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310  
 社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692  
 メールアドレス: kondo@commi.cc